



No.143

発行日: 2025年2月12日

# 神奈川ネット 市政報告



市議 布瀬めぐみ



市議 吉田なな

## 不登校支援が大きく前進！

### 12月の一般質問より

学校に行かない選択をする子どもたちが増えている状況の中、子どもたちにとって本当に必要な社会的自立を目指すための支援が求められています。

大和市議 布瀬めぐみ

### 年々増加している 不登校児童生徒

文部科学省の2023年度の調査によると全国の不登校児童生徒数は、約34万6千人と11年連続増加しており、特に中学生は全体の6%が不登校という状況です。クラスに2〜3人いることとなります。

2023年にNPOが行った「不登校の子どもと保護者対象の全国調査」によると、不登校のきっかけは「先生との関係」「学校の価値観が合わない等学校システムの問題」が上位を占めています。

### 大和市の状況と 不登校支援の目標

大和市も毎年不登校児童生徒数は増加しており、特に小学生の不登校が増加しています。(グラフ参照)

大和市は以前より学校やまほろば等の多くの場で「学校復帰」を目指す不登校支援が行われてきており、改善を求めてきました。

10月に就任した新教育長に改めて質問したところ、「どの学び場であっても児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立していくことを目指し支援していく」と答弁しました。学校復帰ではなく、社会の中で生きていく力を付けることを目標にする明確にしたことは、大きな前進です。

### 全小学校に 不登校支援員配置決定

コロナ禍では制限のある学校生活や楽しみにしていた行事の中止などから、子どもの無力感や不安が増大しました。「生きづらさ

### コンポストバッグが補助対象に！

大和市は、生ごみの減量化・資源化に役立つ容器の新規購入に対し補助を行っています。一般質問で提案したことが実現し、2025年度からは補助対象にコンポストバッグを加える予定で準備が進められています。チャックを閉められるので匂いの発生や虫の侵入を防ぐことができます。

持続可能な循環社会の構築には、市民一人ひとりの取り組みが大切です。コンポストを始めた後も、モチベーションを持ち続け実践していけるよう、講習会や交流会等の開催も合わせて提案しました。

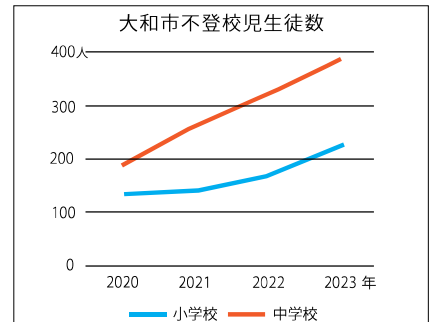


お問い合わせ  
廃棄物対策課 046-269-7343

生ごみの分解を早める  
独自の配合基材

コンポストバッグの一例  
ローカルフードサイクリング株式会社公式HPより

の低年齢化」が叫ばれています。大和市でも小学校低学年の不登校が増加しています。以前より一貫して、全小学校に「不登校支援員」と不登校児の居場所になる「校内教育支援センター」の設置を提案してきました。今回再度提案し、来年度から全小学校に設置される予定です。



### 支援の場の連携

これまでの不登校支援は、学校内やまほろば等、それぞれで行われ、情報の共有がされていませんでした。どの場で学んでも、同じ支援が受けられる体制整備が必要です。私はこれまでずっと、関係機関の連携の重要性を指摘してきました。

12月の一般質問で、特例校\*設置後に不登校支援の関係者が一堂に会する場である「不登校対策連絡協議会」ができたことが分かりました。それぞれの場で行われた実践事例を共有しながら、個々の支援に活かして欲しいと思います。

布瀬めぐみの  
一般質問はホーム  
ページでもご覧に  
なれます。こちらのQRコード  
からお入りください。



### おしゃべりサロン (議会報告会) のお知らせ

議会や市政の報告をし皆さんからお話を伺う場です。  
お気軽にご参加ください。(直接会場にお越し下さい)

時間はすべて10:00~12:00 出入り自由です。

- 3月25日(火) ポラリス room2 (吉田)
- 3月31日(月) 桜ヶ丘学習センター202(布瀬)
- 4月 2日(水) 大和市民会議事務所 上草柳8-15-5(布瀬)
- 4月 3日(木) つきみ野学習センター201(吉田)

- 4月 7日(月) ポラリス room3 (布瀬)
- 4月 8日(火) シリウス609(布瀬)
- 4月 10日(木) イコーザ308(布瀬)
- 4月 24日(木) みんなのスペースわにわに(布瀬)  
大和市桜森3-4-13桜森スクエアⅢ1階

### \*大和市不登校特例校ってどんなところ？

地域の学校に登校していない中学生に対し、一人ひとりに応じた多様な教育支援を行う学校です。

国語、数学などの教科で分けた学びではなく、興味を持ったことを通じて学びを深めることができ、オンラインによる学習の併用も可能です。例えば、料理や校庭での自然薯堀り、楽器演奏など、実践を取り入れた学習を通して、自ら学ぶ力を育む支援をしています。

次号  
まちづくりレポート  
5月発行